

## (議長)

はい、休憩前に引き続き、会議を再開致します。

次に、まちづくり推進課所管の予算並びに関連議案について、一括補足説明を求めます。

「まちづくり推進課長」。

### 「まちづくり推進課長」(補足説明)

それでは、私の方から、30年度のまちづくり推進課所管のですね、予算について、ご説明致します。お手元の予算資料の方でご説明したいと思います。

資料の8頁をお開き願いたいと思います。ナンバー15番の文書広報費であります、広報誌の印刷や配付等に関する経費を計上しております。昨年と事業内容については変わっておりませんので、予算額は507万6千円を計上しております。

資料、次に資料の9頁をお開き願います。企画費中、まちづくり推進課の所管の事業につきましては、ナンバー31番からナンバー44番までを、となっておりますのでこの部分を説明させていただきます。

始めに、ナンバー31番の同名自治体連携事業でございますが、平成28年度からスタートしたオホーツク枝幸町との連携について、今年度からローカル経済交流というキーワードを持ちながら、物販を中心に本格的に事業を展開して参りたいと思います。予算額は120万3千円を計上しております、財源確保対策として北海道市町村振興協会のいきいきふるさと推進事業の活用を予定しております。

次に、ナンバー32番でございます。北海道日本ハムファイターズ市町村応援大使事業でございますが、お手元の資料の5頁にも記載しておりますが、今年2018年江差町が、の応援大使として杉谷選手と市川選手が任命されたところでございます。球団側と協議を、協議や調整を行いながら応援ツアーの実施、或いは町民球場へのラッピング、さらには先週の表敬訪問時のですね、記念植樹、札幌ドームへの出店、各種の事業を展開して参りたいと考えております。予算額は179万8千円を計上しております。財源確保対策として同名自治体連携事業同様、いきいきふるさと推進事業の活用を予定しております。

次に、ナンバー33番の北の江の島構想推進でございますが、現在取り進めている構想策定支援業務の成果品をベースに新年度、議会や町民の皆さんとキャッチボールをしながら事業1つ1つ積み上げ、また財源の確保対策もしっかり行いながら、基本計画・実施計画に結び付けて参りたいと考えております。予算額は12万2千円と少額でございますが、まずは4月からは議会、そして町民の皆さんとキャッチボールするということでございます。

次に、ナンバー34番の中心市街地活性化対策でございますが、平成29年度に江差商工会にて取りまとめた中心市街地活性化調査事業の再検証事業というものを行っております。この報告書をベースに旧江光ビルの跡地活用に関しまして、引き続き商工会など関係機関と検討を行って参りたいと思っております。また、施設の、跡地のですね、整備方

針の決定までに一定の時間がかかると、先程町長の方からもご答弁申し上げましたが。この間の跡地の景観などに配慮しながらですね、簡易な花壇整備、或いは今年青年部でやったイルミネーション。ああいった人だまりができるような仕組みも一方で作っていきたいなと思っております。予算額は65万8千円を計上しており、全額商工会に補助金ということで予定をしております。

次に、ナンバー35番の地域づくり大学連携事業であります。本年度は学生のアイデアを具体的にまちづくりに生かすことを目的に、政策アイデア奨励金などを創設して、地域の住民と学生が一体となったまちづくりに資する様々な取り組みを行うための経費を計上しております。予算額は46万9千円となっております。

次に、ナンバー36番とナンバー37番ですが、広域連、地方創生の広域連携事業でございます。バリアフリーレジャーと地域づくりの総合連携事業、或いは檜山管内7町と東京特別区との連携事業でございますが、昨年と大きく変わっているところはございません。予算額はバリアフリーレジャー、バリアフリーレジャー事業につきましては276万6千円、東京都特別区との連携事業であります。これは424万8千円を計上しております。

次に、ナンバー38番のまちづくり推進交付金でございます。総合戦略を牽引するものとして、今年度も引き続き各種の取り組みに対する支援を行って参ります。昨年の12月の定例会でもちょっと周知の仕方なども工夫してしなさいというような議会の方からもご指摘を受けておりますので、周知の仕方について、工夫をしながら対応して参りたいと思います。予算額は1千万を計上しております。

次に、ナンバー39番の地域おこし協力隊の配置でございますが、現在、役場内に4名の協力隊が配置しております。まちづくり推進課に配属している隊員の経費を計上しており400万という予算となっております。業務内容につきましては、マリンスポーツの推進、或いは北の江の島構想の策定支援という業務内容でございます。

次に、ナンバー40番のふるさと応援寄附金対策でございますが、昨年度に引き続き、ふるさと納税員を配置しながらこまめに個店を周って商品のリストアップ、スピード感を持ってですね、業務を取り進めて参りたいと考えております。予算額は1億2,154万3千円となります。寄附額の具体的な目標額は7千万円をまず目標に動きたいと思っております。

次に、ナンバー41番の情報発信強化対策、またナンバー42番の乗合タクシー運行事業でございますが、昨年と大きく変わってございませんので、説明は割愛させていただきます。

次に、ナンバー43番の開陽丸青少年センター補助でございますが、財団全体の運営経費、或いは観光インフォメーションセンターの運営経費を計上しております。予算額は2,255万1千円というところでございます。

次に、ナンバー44番の企画事務でございますが、町長の要請行動或いは各種団体への負担金ということでございます。予算額は243万5千円を計上しております。

ナンバー45番から47番につきましては、それぞれの所管課から明日以降、ご説明があると思います。

次に、資料の、すいません。資料の10頁でございます。ナンバー76番の統計調査費でございますが、本年度は工業統計調査などを行って参ります。予算額は99万1千円、全額道の委託金でございます。

最後に、歳入で1つだけ皆さんにお諮りしたいと思います。予算書の36頁でございます。寄附金の項目でございますが、企業版ふるさと納税ということで、250万円を計上させて頂きました。実は、昨年6月に西海谷議員から企業版ふるさと納税の取り組みについてご質問を受けまして、この間握手出来る企業を探しておりましたが、今般、握手出来る企業が見つかりまして、今、現在内閣府の方に地域再生計画を提出しております。首尾よくいくと3月末にその計画が認定され、4月以降その事業者と寄附金の申込などの調整に入りたいと思っております。

以上、まちづくり推進課所管の30年度の予算の説明とさせて頂きます。宜しくお願い致します。

#### (議長)

はい。説明が終わりましたので、一括質疑を許します。

質疑希望ありませんか。

「小野寺議員」。

#### 「小野寺議員」

はい。

会計資料、じゃない会計予算資料の先程の説明ありました番号でお聞きします。大きくいうと2つです。最初に、36・37の7町、広域の関係の部分ですね。それと、まちづくり推進交付金の関係、大きく2つお聞きしたいと思うのですが。

最初に、まず、檜山7町の関係なのですが、ちょっとその前に課長、ちょっと教えてもらえれば。追分観光課でも、このバリアフリーレジャーと地域づくり総合連携事業が197万円出していますけれど、きっと仕事こう分けながら、連携しながらしているのでしょうか、ちょっとその関連もちょっと併せて教えてもらいたいのですが。それで、本題に入ります。結果的に、イメージがなかなかちょっとよく沸かないんですが、振興局のホームページ見る、それから、特に乙部ですとあすなろホテルの、があるからでしょうか。本当に障がい者が、この檜山管内に本当に気軽に泊まる、憩えるところ、観光も出来ますよという、そういう流れの1つだろうと思うのですが。その点で、江差町として、この力を入れる部分、あと年度何年何ですか。どういう風にこう檜山管内全体の連携と江差町としてこの、やってくるのか。色々バリアフリーで、したというのは聞いていますけれども、少し全体のイメージをちょっと教えてもらいたいな、というのが1つ目です。

それから、2つ目のまちづくり推進交付金。これ前回、予算審議でしたか。去年の予算審議でもちょっと聞いて申し訳ないんですが、現在進行形で特にハード系がどういう風に今きているのか。それから新年度も迎えて、ハード系で思い切ったこの動きが出てきているのか。まず、そこちょっと教えてもらいたいと思います。以上です。

(議長)

はい、「まちづくり推進課長」。

「まちづくり推進課長」

はい。

まずバリアフリーレジャーのご質問でございますが、追分観光課の方に予算が付いている、或いは教育委員会の社会教育課の方にも付いていると思います。実は、これは、各施設に介助員を配置している人件費を所管課の方に振り分けをしているというところでございます。それと、バリアフリーレジャーのイメージでございます。実はあの地方創生の加速化交付金から、このバリアフリーレジャーというのはスタートしておりまして、実は東京から、首都圏からですね、地方に人の流れを作るところがまず1つのキーワードになります。そういう中で、檜山管内がそういった高齢者或いは障がいのある方、小さなお子さん、そういう方にとって優しい地域であるということ、皆で作ら上げましょうというのが、このバリアフリーレジャーのコンセプトでございます。そして、各地区で、各町で連携して、それぞれの強みの中で、観光商品或いは観光のルートを作りましょうということでございます。ですから、各、今金にバリアフリーのホテルがあったり、江差、上ノ国にバリアフリーの宿泊施設があったりということじゃなくて、お互いのルートの中で役割分担をしながら、どういったものを作っていくかということが、この31年までの事業の中で整理されていくということでございます。

そして、江差町の役割ということでございますが、観光施設が多いということで、まずは来た方にそういう介助をする方を置きましょう、ということ。それと海の駅・開陽丸を中心に、江差町はワンストップで観光インフォメーションをするということですので、そこにバリアフリーの観光のツールをたくさん用意しました。アシスト付き自転車、或いは電動カート、今年度につきましては電動の車いす、そういったものを用意しながらなるべく街中に、人が周り、周るようなそういう仕組みを準備してきたというところでございます。

全体のイメージとしては、今、申し上げたとおり、各町の役割分担をしながら、檜山全体がそういう障がいのある方或いはお年寄りに優しい地域であるということをしつかり売り込むということが、この事業の中身でございます。

すみません。まちづくり推進交付金のハード事業でございますが、28年度に空き店舗を改修して、茂尻町で起業された方がおります。そして29年度もいにしえ街道沿いで今

起業の準備をしている方がいます。今ハード事業につきましては、空き店舗の活用促進事業の2件しか残念ながら活用がございません。以上でございます。

(議長)

はい、「小野寺議員」。

「小野寺議員」

それで、私もちょっと、すみません。まちづくり推進交付金の方からなのですが。ハードの部分が、全く新しくという部分は分かりやすいのですが、一定の規模の大きい増改築くらいのイメージまでは何となく湧いたのですが、さらにそこまではいかない、しかし施設の部分的な補修等になるともうこのハードには入らない。入らない。ですよ。それで先程の1問目のバリアフリーに関わってくるのですけれども、例えば、これもしかしたらまちづくり推進課ではなくて、観光、観光関係になっちゃうのか。今、障がい者が仮に団体でも個人でもこう来た時に、一般的には障がい者になればなるほど一定程度時間取ろうと思ったら上ノ国だけ、江差だけ、乙部だけっていうことは普通考えられない。ましてや、一定の団体等であれば。そうすると一定の、それこそ檜山全体でバリアフリーのこのそれぞれの特色あるところに泊ったり、観光巡りしたり、食べたりっていうことになるのでしょ。江差、それでもやっぱり江差に泊ってもらいたい、とすると、江差のホテル、ホテルというか旅館がそのバリアフリーでどこまでぎりぎりまで今きているのか。もし、ここの場で申し訳ない、まちづくり推進課長ということで、押さえてれば。商工あたりでしょうかね。例えばですね、車いすでは泊れない、車いすではトイレが使えないとか、足りないとか。1人部分だったら一定程度バリアフリーになっているけれども、団体で来たら江差では泊れないだとかいう点ではもっともこのまちづくり推進交付金などが使えるかどうかよく分かりませんが、もう少しこの、檜山が全体で障がい者などが受け入れられるバリアフリーレジャーを進められるということであれば、上ノ国、乙部だけじゃないと、江差だってその障がい者が泊れるのだよということ、何とかこの、今の地方創生、若しくはまちづくり推進交付金などなども使って、江差もどうぞ障がい者の方泊ってくださいという風な部分が出来ないかなという問題意識があったのです。で、ホームページ見てもですね、江差だって泊れるよとか、という部分どうでしょうかね。今後の可能性も含めて。ちょっとお聞きしたいと思います。

(議長)

意見ですか。

「まちづくり推進課長」。

「まちづくり推進課長」

ご質問にお答えします。

まずあの、今のまちづくり推進交付金の制度上は、宿泊施設につきましては、新築或いは増改築に限らせて頂くというところがございます。ただ、あの、今議員おっしゃいました宿泊、既存の宿泊施設の、ピンポイントの施設改修につきましては、実は平成27年度から地方創生の先行型の宿泊施設改修事業或いは28年度も引き続きですね、29年度まで3か年、宿泊施設の改修事業を産業振興課所管で行っております。トイレの改修とか、お客様が実際に触れる場所、通る場所、そういう場所を中心に改修事業が一定程度終わったというところがございます。ただ議員がおっしゃる。

「小野寺議員」

ちょっと足りない。

「まちづくり推進課長」

ええ。全方位で、そういう障がいのある方を受け入れる宿泊施設となると、きっと今江差町内の中では厳しいのだらうなという思いをしております。実際にきちんと私が把握した訳ではございませんが、きっと議員と同じような感覚でいると思います。以上でございます。

(議長)

いいですね。

「小野寺議員」

はい。

(議長)

はい。他に質疑希望ありませんか。

(「なし」の声)

(議長)

はい。他に質疑希望ありませんので、まちづくり推進課所管の予算並びに関連議案について、の質疑を終わります。

以上で、本日の日程は全部終了致しました。

本日はこれで散会致します。

大変ご苦勞さんでした。

延会 16 : 25